

知花賢正教育次長を講師に静の時間、「書道」(クラブ)に取り組む

島尻教育研究所の長期研修の1つに「クラブ」があります。日本の文化や沖縄の文化にふれてもらうために、書道や三線、琉球料理などが主な内容となっています。

7月30日(水)には、南部広域行政組合教育委員会教育次長知花賢正氏を講師に第7回目の「書道」のクラブを行いました。5名の教育研究員は、筆を上手に使い、集中して書の練習に取り組んでいます。報告会の時には、素敵な書を展示することができますと思います。



写真1 クラブ 書道の様子

クラブ「書道」のこれまでの内容

- 第1回 「筆になれ、基本点画1」 4月9日(水)
 ①筆のほぐしかた、洗い方、乾かし方
 ②基本点画(単純線)の運筆練習【縦線、横線、斜め線、回腕】
 ③基本点画(習字線)の運筆練習
 ○「横線」⇒一(たいら、そり、ふせ)「一」「二」「三」
 ○「縦線」⇒「I」「山」「川」
- 第2回 「基本点画2」 5月13日(火)
 ①前回の復習 基本点画・横線
 ②縦画く(とめ・はね・はらい)
- 第3回 「基本点画3」 5月29日(木)
 ①はね ⇒「用」
 ②はらい⇒「八」
- 第4回 「基本点画4」 6月5日(木)
 ①「八」「人」「式」「兄」
- 第5回 「作品練習 1」 6月25日(水)
 ○四文字熟語
- 第6回 「作品練習 2」 7月17日(木)
 ○四文字熟語
- 第7回 「作品練習 3」 7月30日(水)
 ○四文字熟語



写真2 練習の様子



研究員の感想

四文字熟語を練習してゆく中で、「温」は形になってきていると局長に誉めていただいたので、「順」もクリアしていけるようにしたいです。そして「篤」「実」「四十期」「名前」も練習していきたいです。書道は、集中でき、楽しく落ち着いた時間を過ごすことができます。(金城睦子)

書道は、2週間に1度のペースで行われています。局長からいただいたお手本の四字熟語「和顔愛語」の意味…「和やかな表情と親愛の情がこもった言葉遣い」を知り、うれしいです。四字熟語の文字にも慣れてきました。以前から「頁」の「折れ」が課題ですが、今日は、一度だけうまく書けました。字形や大きさに気をつけて、自分の満足できる字が書けるように頑張りたいです。(上原馨)

前回に引き続き、「六根清浄」の六根を練習しました。六をバランスよく書くことが難しかったです。局長に、右はらいが出来ようになってきていると言われ、とても嬉しかったです。「形を整えるといいよ。」とアドバイスをもらったので、次回は右はらいと残りの「清浄」を練習したいです。(下地こず恵)

これまで練習していた「敬天愛人」の四字熟語を変更し、お世話になった校長先生からいただいた言葉「不撓不屈」を書くことにしました。「撓」という字の画数が多いため、知花局長にお願いをしてお手本を書いてもらいましたが、やっぱり大変そう・・・でも、「書くなら自分の好きな言葉」と決めたので、しっかり、丁寧に練習していきたいです。(仲門 学)

今回から四文字熟語の「桜梅桃李」に取り組んでいます。最初は桜の「女」の部分が上手く書けなかったのですが、局長の手ほどきを受けて一生懸命練習したので、2時間のクラブが終わる頃には自分でも少しわかるくらい上手になっていました。諦めず練習することは上達につながると信じて、頑張っていきます。(横田純子)